

令和4年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第一中学校

1年	【目指す授業】	基礎学力の育成と深い学びの実践			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字や語句など基礎学力が乏しい。 ○朝読書や感想文など読書の習慣はある。 ○自分の考えを文章で伝えることが困難。		○毎時間の漢字テストの実施。辞書を使って語彙を増やす。ことば指導の充実を図る。 ○毎時間、授業の自己評価を書かせるなど、文章を書く機会を増やす。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている。		60%	70%	65%
	分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。		78.1%	80%	78%
	【評価】	成果と課題			
B	○日々の学習習慣を身につけるよう指導した。 ○わからないところをそのままにせず解決するよう指導した。				

2年	【目指す授業】	基礎・基本的な国語力の向上			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字や語句などの基礎学力が乏しい。 ○課題に意欲的に取り組んでいる。 ○考えを適切な言葉で書き表すことが苦手。		○毎時間漢字の学習時間を設ける。週に1度漢字の小テストを実施。 ○毎時間授業の振り返りを書くことで、自分の考えを書き、まとめる機会を設ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		50.8%	55%	50.9%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
B	○話し合い活動や説明を聞くときはメモを取れるよう指導した。 ○				

3年	【目指す授業】	正しく言葉で伝える力の向上			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字や語彙の知識が乏しい。 ○文を正しく書くことができない。 ○授業に意欲的に参加し、取り組んでいる。		○毎時間の小テストの実施。漢字のドリルの課題に取り組む。 ○意見文など作文を書く機会を多く設ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		43.2%	50%	71.5%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
A	○文章を読んだあと自分の考えを書いて表現できるようになった。 ○文章内容の読解内容を共有し、問題に取り組むことができた。				

令和4年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立第一中学校

1年	【目指す授業】	正しい理解と活用ができ、自主的に目標をたて学習できるようにする。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○負の数の計算、文字と式の計算といった中学における新しい計算の理解に時間がかかる。 ○小学校において既習の分数、小数の計算から復習の必要がある。		○計算については繰り返し演習をすることで解法を身につける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	教科書の問題を各自が解き、発表し、理解を深める。		64.1%	70.0%	73%
	学習の動機づけができる。		60.0%	63%	90%
	【評価】	成果と課題			
A	○基本的計算能力が不足しており、基本に戻って学習した。 ○自主的に不得意分野について考えさせた。				

2年	【目指す授業】	基礎・基本を重視し、意欲的に取り組める授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○前向きに取り組んでいるが、基本的な計算が身に付いていない生徒がいる。 ○説明する課題に対して考察していく力が弱い。		○週2回朝学習で東京ベーシックドリルを利用した計算練習を行い、計算力の定着を図る。 ○ヒントを適宜与えることで、見通しを持って考えることができるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	数学の授業の内容はどのくらいわかりますか。		73.7%	80%	70.4%
	数学で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。		52.1%	55%	59.2%
	【評価】	成果と課題			
B	○証明問題等で自分の考えを表現することができた。 ○論理的な思考が苦手な生徒が多く今後の課題である。				

3年	【目指す授業】	生徒が教え合うことで、考えを深めて基礎・基本を身につけられる			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○主体的に取り組んでいるが、基本的な計算が身に付いていない生徒がいる。 ○文章問題の内容を理解する力が乏しい。		○計算の小テストを行う（30問7分間） ○問題の内容を理解するための手順を明確化		
	評価指標		6月	目標値	2月
	数学の授業の内容はどのくらいわかりますか。		82.4%	85%	86.7%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
A	○生徒同士での教え合いが自主的にできるようになった。 ○文章問題に対する抵抗感はなくなってきたが、理解度は高められなかった。				

令和4年度 授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第一中学校（学級名 I組）

<p>目指す授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な内容を理解させる。 ○ 視覚や聴覚の情報を重視し、繰り返しによる定着を図る。 ○ 考えを自分の言葉で表現できるようにする。 		
<p>教科</p>	<p>① 生徒の実態・課題</p>	<p>② 授業改善の取組</p>	<p>③ 取組結果</p>
<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の概念を理解していない。 ・話を最後まで聞けない。 ・漢字の読み書きができない。 ・はっきりと発声することができない。 ・テーマに沿った作文を書くことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真、ネットの画像や動画を活用し、動作等取り入れて、具体的に理解させる。 ・話をきちんと聞き取る練習をさせる。 ・漢字検定試験等を活用し、練習させる。漢字の筆順、熟語の意味の理解を丁寧に行う。 ・出来事を発表させる。音読をさせる。 ・何について書けばいいのかを言わせたり、まとめさせたりしながら、読み手にわかりやすく書く練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の継続が必要である。 ・個別に声をかけることで、話が聞けるようになった。 ・漢字は着実に書けるようになってきたが、熟語の意味の理解は継続した指導が必要である。 ・話すことは少しずつできるようになった。 ・少しずつ書けるようになった。
<p>数学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数を正確に効率よく数えることができない。 ・単位の意味を理解していない。 ・定規の目盛りを読む、直線をひくことができない。 ・文章題が解けない。 ・時間の概念を理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物をきちんと数えさせる。5ずつ、10ずつ数えてまとめさせる。 ・何に対する単位なのかをきちんと学習させる。単位換算表を活用できるようにする。 ・目盛りの意味を理解させ、始点と終点に注目して、きちんと線をひく練習をさせる。 ・文章のキーワードに注目させ、何を問われているのか、加減乗除のどれを使うかを判断させる。 ・時間の帯に行動を記録させて、時間の長さや24時間の意味を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめて数えることは身に付いた。 ・単位の換算は今後も指導が必要である。 ・目盛りの読み方、直線のひき方は上達した。 ・図を書いて意味を理解するための支援があると、多少解けるようになった。 ・個人差はあるが、少しずつ理解できるようになった。